

# 第3回日本財団WORK! DIVERSITY プロジェクト (2021年度、2022年度の事 業説明)



(一般社団法人)ダイバーシティ就労支援機構 岩田克彦



ダイバーシティ就労支援機構  
Japan Organization for Diversity Employment Support

# ダイバーシティ就労支援の実現をめざして

## 日本財団 WORK！DIVERSITYプロジェクト(ダイバーシティ就労支援プロジェクト) 目標とこれまでの取組み

---

### ＜ダイバーシティ就労支援＞

多様な要因で就労困難な状況にある人々向けに、多様な（良質な）働く場が多様な形で整備され、実際働く人々が増えることを実現するための支援



# 2021年度の検討

---

1. 企画委員会、各部会での検討
2. 有識者公開連続講演会の開催
3. 日本財団第3回 **WORK ! DIVERSITY**カンファレンスの開催
4. 障害者就労支援機関に係る実態調査の実施

# 日本財団WDプロジェクトの委員会・部会構成

## 全体委員会

(※) プロジェクトの活動に大所高所から助言

### 企画委員会

(※) 各部会の議論を統括

経済・財政・社会保障  
収支・労働需給  
バランス検討部会

(※) 経済・財政・社会  
保障収支・労働需給バ  
ランスと働きづらさを抱え  
る者の就労促進との関係  
を分析

### 海外状況 整理部会

(※) 海外諸国の  
就労困難者支援  
状況を調査・整理

(2021年3月設置)  
態様の異なる就労困難者  
への横断的支援方策検討  
総合部会

(2021年7月設置)  
**WORK !DIVERSITY**  
ネットワーク構築部会

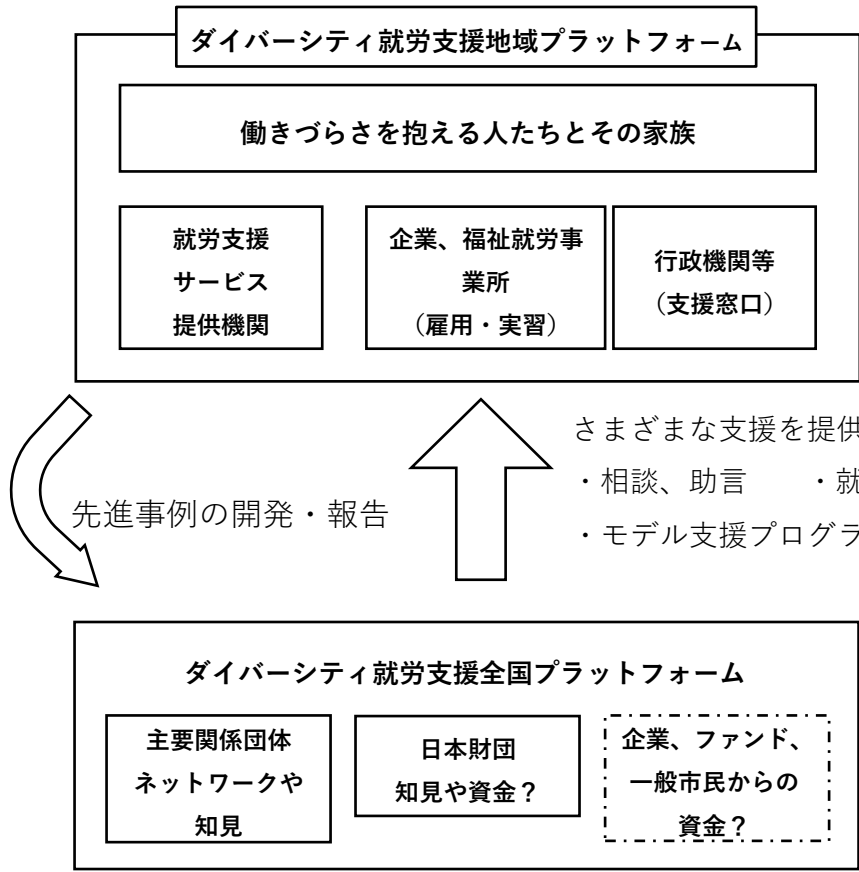
# 各部会での検討（1）

---

1. ダイバーシティ就労支援ネットワーク構築検討部会（ネットワーク構築部会）
2. 態様の異なる就労困難者への横断的支援検討部会（横断的支援検討部会）

## ダイバーシティ就労支援ネットワーク構想（イメージ図）

出所「2020年度日本財団WORK! DIVERSITYプロジェクト総合報告書」p11



### ダイバーシティ就労支援地域プラットフォーム

都道府県レベル（少なくとも、複数市区レベル）では、地域プラットフォームを構築し、地域支援機関、就労事業所（企業、福祉事業所）、就労困難者（本人、家族、当事者団体）、自治体・行政機関の調整・協働支援を行う。

さまざまな支援を提供  
・相談、助言 ・就労支援機関情報 ・先進事例、専門家リスト  
・モデル支援プログラム、モデルキャリアラダー（・資金？）

### ダイバーシティ就労支援全国プラットフォーム

地方での取組みを支援するため、主要関係団体を巻き込むフォーラムを構築し、相談・助言、就労支援機関情報・先進事例・専門家リスト・モデル支援プログラム・モデルキャリアラダー（キャリアのはしご）等地方の取組みを支援するツール・情報を開発・提供する。

## 各部会での検討（2）

### 3. 「経済・財政・社会保障・労働需給バランス」検討部会（バランス部会）

「バランス」部会は、就労困難な方々と経済・財政・社会保障収支や労働需給バランスとの関係进行分析する部会です。ダイバーシティ就労を推進することで、施策支出そのものは増加するが、税・社会保険料は増え、医療・福祉関係の支出が減少することで、財政・社会保障収支は改善することが期待されます。

### 4. 海外状況整理部会

海外状況整理部会は、主要国の障害者をはじめ、生活困窮者その他の就労困難な方々に対する就業対策、障害者以外を含むダイバーシティ就労化の動向等をまとめ、プロジェクトの検討に資する成果をまとめる部会です。**2021**年度は、**3**年間の検討の総合報告をまとめる予定です。



## 9 日本財団**WORK ! DIVERSITY** プロジェクト 2022年度実施事業（案）

---

- **WORK ! DIVERSITY**地域ネットワークの構築支援
- ダイバーシティ就労支援スタッフ養成研修の試行
- 横断的なダイバーシティ就労施策の実現に向けた提案
- 日本財団第4回**WORK ! DIVERSITY**カンファレンス、公開有識者講演会の開催